

別紙3 点検表記録様式

様式(その1)

横断歩道橋名・所在地・管理者名等

横断歩道橋名		路線名	所在地		設置位置	緯度	35° 46' 28.7"
						経度	138° 42' 01.6"
見帰歩道橋 (フリガナ) ミカリホドウキョウ		町道1-20号線	長野県木曽郡上松町南見帰				
管理者名		点検実施年月日	2017年 7月 21日	点検員	株式会社長野技研 野村 誠子		
上松町役場		調査実施年月日		調査員※1			
代替路の有無	緊急輸送道路	占用物件(名称)					
有	その他	-					

部材単位の健全性の診断(部材毎に最も悪い判定区分を記入)

点検時に記録				措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置 等が分かるように記)	措置後の 判定区分	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁	Ⅰ				
	床版等	Ⅰ				
下部構造		Ⅰ				
階段部		Ⅲ	底版下面の浮き	写真1		
その他		Ⅱ	部分腐食,舗装材劣化	写真2～写真3		

横断歩道橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅲ	A2橋台下面ほぼ全面と基礎地盤の間に10cm以上の隙間があるため、緊急な補修が必要である。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次※2	橋長(m)	通路幅員(m)	起点側		
1996年	20.7	2.0			
※ 全域の側面下面に鋼製保護カバーがあり構造部の点検不可 点検口はあるが、直近に横桁があるため進入不可 溶接のため取外しも不可					

※1：調査員は、非破壊検査(板厚調査、き裂調査等)を実施した請負者等を記入する。

※2：架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

横断歩道橋名	上松歩道橋	路線名	町道1-20号線	点検員	株式会社長野技研 野村誠子	点検年月日	2017年 7月 21日
		管理者名	上松町役場	調査員			

写真番号		写真1	
部材名		階段部底版下面	
変状の種類		浮き	
健全性の診断	点検時(調査時)	Ⅲ	
	措置後		
調査(方針)		調査年月日	2017年 7月 21日
措置(方針)		人工岩(コンクリート充填)+土留工	措置年月日
備考欄		法面に設置されているため、地山が流出及び沈下した可能性がある 底版下面が、ほぼ全面が浮いている	

写真番号		写真2	
部材名		その他舗装	
変状の種類		剥れ	
健全性の診断	点検時(調査時)	Ⅱ	
	措置後		
調査(方針)		調査年月日	2017年 7月 21日
措置(方針)		点字ブロック張替	措置年月日
備考欄		点字ブロックがほぼ全面はがれている	

写真番号		写真3	
部材名		その他地覆	
変状の種類		腐食	
健全性の診断	点検時(調査時)	Ⅱ	
	措置後		
調査(方針)		調査年月日	2017年 7月 21日
措置(方針)		塗装塗替	措置年月日
備考欄		部分的に塗膜劣化(ふくれ,はがれ)がみられる	

写真番号			
部材名			
変状の種類			
健全性の診断	点検時(調査時)		
	措置後		
調査(方針)		調査年月日	
措置(方針)		措置年月日	
備考欄			

○部材単位の健全性の診断(判定区分)が、Ⅱ、Ⅲ又はⅣの部材について記載する。なお、同一部材で、変状の種類が異なる損傷がある場合は、変状の種類毎に記載する。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。